

石川県立大学 大学院棟



「開かれた大学」、「連携と交流」をキーワードとして平成17年に開校した県立大学に、さらに総合研究の場となる大学院棟を増築した。

大学院棟の増築により、施設全体が回遊できるようになり、共通施設棟・学科棟との連携を強く持つ高効率な実験・研究空間を実現した。

現在は鉄筋コンクリート造2階建てであるが、3階部に増築可能な構造となっている。



外観は、手取川の土色をイメージしたせっき質タイルをアクセントとし、切妻屋根の連続が借景でもある白山連峰を想起させる。

-  クールヒートトレンチによる地熱利用
-  床タイル、インターロッキングブロック
-  身障者用エレベーター・多目的トイレを設置

DATA

③教育施設

野々市市末松地内

平成15年10月～平成20年11月
のべ22,995.76㎡

(大学院棟)

鉄筋コンクリート造:地上2F
のべ3,086.32㎡